# 議題(3)今後について【二次災害防止措置・復旧スケジュール】 資料3 1

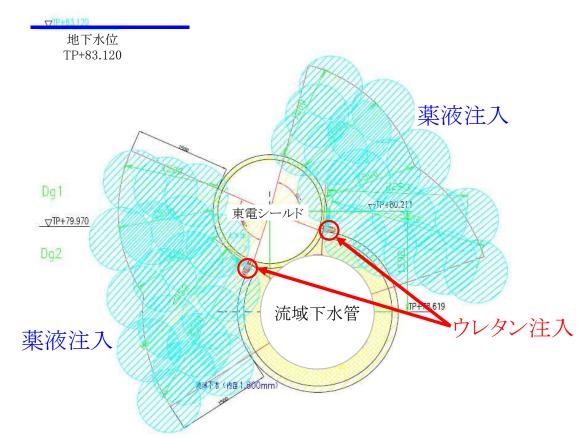
	11月	12月	2026年 1月	2月	3月	4月
下水道・道路 モニタリング	ボーリングによる 空洞調査 -		下水変動・空洞調査・ス (事故発生後から紅 域下水管点検		計・ひずみ計	
堆積物除去	人力撤去	(年内完了目標) ◆ ★初	清掃  <b>た下能力が概ね回</b>			
止水対策	東電シール	<b>タン注入</b> べと流域下水管の を埋める作業	•	薬液注入		
復旧		旧に向けた T法の検討 		東電シールド残置検討 	<del>+</del>	歩部切断

## 議題(3)今後について【二次災害防止】

### 止水対策(薬液注入(止水・空隙))

- 現在、流域下水管に流れ込んでいる地下水の流入を止めるための止水対策を実施。
  - ① 流域下水管と東電シールドの隙間部にウレタン注入を実施。
  - ② 東電シールドから放射状に薬液注入を実施。
- 薬液注入を実施する範囲は、今後粒度分析の数を増やし、細粒分の流出が無いことを確認して 決定。

#### <u><止水対策計画図></u>

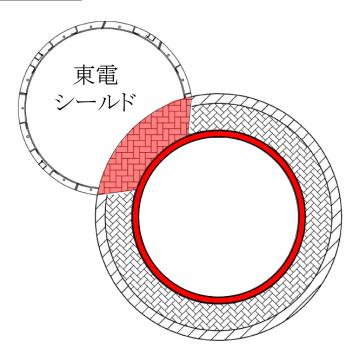


## 議題(3)今後について【復旧方法】

### 復旧方法の検討内容

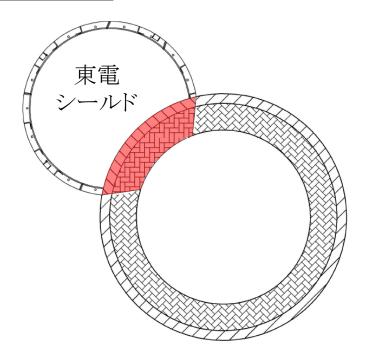
■ 今後、非開削案を進めつつ、下記の検討を進める。

### <u><内面更生></u>



- 更生材の自立管としての構造性能を確認
- 流域下水管の機能が回復する復旧範囲
- 安全な施工を実現するための条件整理
- 東電シールドの取扱い

#### **<断面修復>**



- 断面修復による構造性能を確認
- 流域下水管の機能が回復する復旧範囲 (外面損傷箇所の取扱い検討を含む)
- 安全な施工を実現するための条件整理
- 東電シールドの取扱い